

Solar Cross Community

ソーラー × コミュニティ
世代 × みち
創る × 使う

ソーラー・エネルギーとコミュニティがクロスするゼロ・エネルギー・タウンを提案する。敷地は東京都大田区雑色駅周辺。多くの町工場と住宅が集積し、現在少子高齢化が進む地域である。また敷地内をかつて流れていた六郷用水路は暗渠化され、使われなくなった都市インフラとして存在する。本計画は、「世代とみち空間のクロスする配置計画」[世代×みち]、および創る×使うのクロスするエネルギー計画「創る×使う」を軸とする。ソーラー・エネルギー・ネットワークとコミュニティの形成を統合的に解決した本計画は、高齢化社会、産業技術の継承、都市のエネルギー問題に対する一つのソリューション・モデルである。

Solar Cross Community —ソーラー×コミュニティのまちづくり—

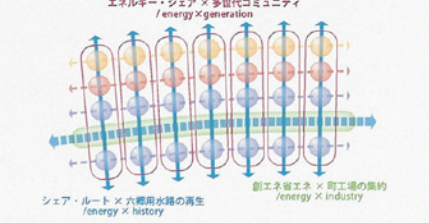
1 ソーラー×コミュニティ

敷地: 東京都大田区雑色駅周辺 (南六郷2丁目)

- ソーラーエネルギー**
- ゼロ・エネルギー・タウン**
エネルギーを共有する自立型都市
- コミュニティ**
- 世代generation**
- 産業industry**
- 歴史history**
- 超高齢化社会**
大田区の人口に占める高齢者の割合 20.5%
- 町工場の競争激化・技術継承**
本敷地内の町工場跡約 80 件
- 六郷用水路跡地**
1611年完成、使われなくなった都市インフラ

ソーラー・クロス・コミュニティ

エネルギーとコミュニティのクロスする六郷のゼロ・エネルギー・タウン



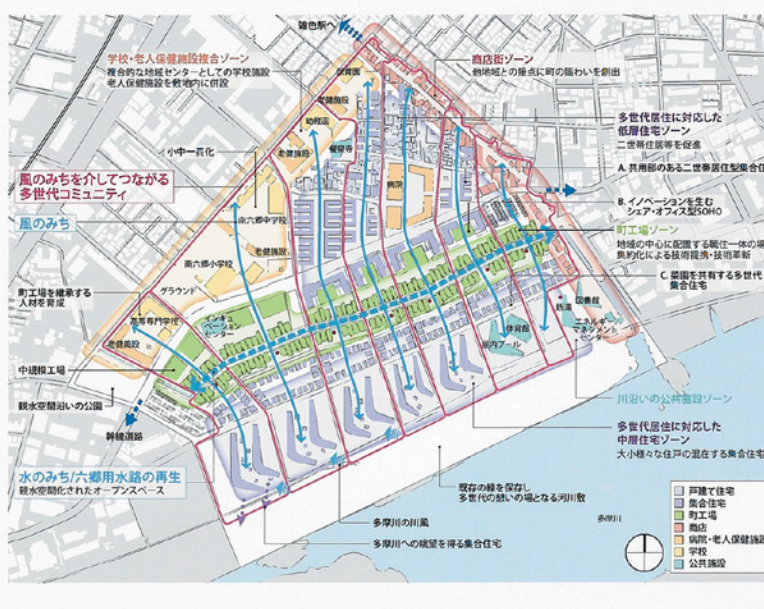
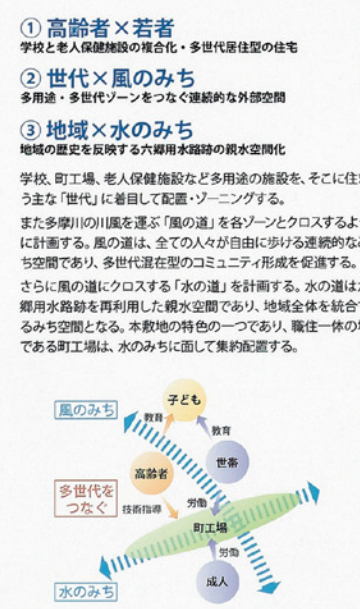
コンセプト



六郷用水路は1611年に小泉次大夫によって建設された約23kmに及ぶ農業用水路で、現在は暗渠化された道路と歩道となっている。

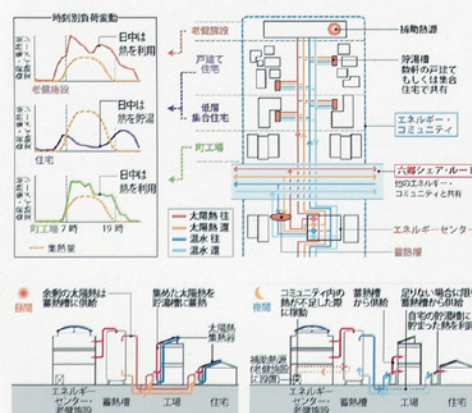
- 1611年 - 農業生産地域 / 六郷用水路利用
- 20世紀 - 中小企業工業製品生産地域 / 化石燃料利用
- 2050年 - ゼロ・エネルギー・タウン / 自然エネルギー利用

2 世代×みち / 多用途・多世代をクロスするみち空間 "六郷用水路跡の再生"



3 創る×使う / ソーラー・エネルギーを軸とした歴史・用途をクロスするスマートなネットワーク

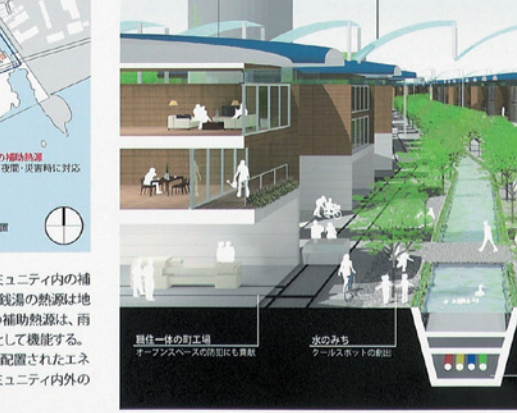
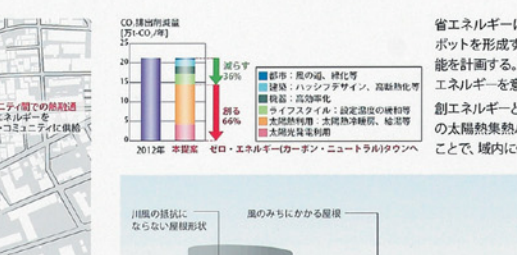
① 多用途×融通



② 歴史×スマート・エネルギー・ネットワーク



③ 創エネルギー×省エネルギー



④ 住宅エリアの考え方

